

## 1 2 ドミド類

[共通]

[警告] A.催奇形性がある：

1.安全管理手順を遵守。

2.妊娠検査：

投与4週間前,2週間前,投与直前(サレド)

投与4週間前,3日前～投与直前

(ポマリスト,レブラミド)

投与中は4週以内毎を検査。

(ポマリスト,サレド,レブラミド)

終了時,4週間後に検査

(ポマリスト,レブラミド)

3.避妊させる：

女性：投与4週間前～4週間後。

男性(精液へ移行)：投与後4週間

B.深部静脈血栓,肺塞栓に注意。

C.患者・家族に十分説明し、

同意を得る。

[特] a.免疫調節,サイトカイン産生

抑制,細胞接着因子発現抑制,

アポトーシス誘導,細胞増殖抑制,

血管新生抑制,など。

b.ハンセン病の結節性紅斑に有効

(海外)。

[禁]1. 投与後4週間は授乳禁止。

2.睡眠作用のため：車・機械の操作

を禁止(眠気,傾眠,めまい,徐脈,

起立性低血圧)。

3.脱カプセル禁止。

[慎]HIVに感染時→HIVウイルス増加。

[注]1. 深部静脈血栓症

2.血管新生抑制作用のため、

創傷の治癒障害

→外科手術は適切な期間中止。

・・・略・・・

ポマリドミド Pomalidomide

●ポマリスト(セルジーン)

カプセル：1mg,2mg,3mg,4mg。

[警告・禁・慎・注] →[共通]

[特]サリドマイド誘導体。

[効]再発又は難治性の多発性骨髄腫。

[用]デキサメタゾンとの併用で

1日1回4mgを21日間連日投与後7日間

休薬,その後これを繰り返す,適宜減量。

・Grade3又は4の副作用(血小板減少

又は好中球減少を除く)発現

→Grade2以下まで休薬,再開(患者

の状態に応じ判断)は休薬前の

投与量から1mg減量。

1mgに減量後に再び副作用発現

→投与中止。

・血小板減少又は好中球減少時の

休薬等の目安→添付文書。

[注]急性腎不全→定期的に血清クレ

アチニン値,BUNを検査。

[体内動態]a.ピーク時間は2～4時間、

半減期6～7時間。

b.精液中/血漿中濃度比は0.67。

c.未変化体の尿中は2%,糞中は7.7%。

[慎]腎機能障害,肝機能障害。

[併]主にCYP1A2,CYP3A4で代謝。

B.慎：CYP1A2阻害剤：フルボキサミ

ン,シプロフロキサシン等,CYP3A4阻

害剤：イトラコナゾール,クラリスロ

マイシン等で本剤の濃度上昇。

[副] 88%]A.重大：a.深部静脈血栓症,肺

塞栓症,b.脳梗塞,c.骨髄抑制：●好中

球減少症47%●貧血24%●血小板減

少症21%●発熱性好中球減少症7%、

d.感染症：●肺炎9%,e.腫瘍崩壊症候

群,f.心不全,不整脈,g.急性腎不全、

h.過敏症：●発疹5%,i.末梢神経障害：

●末梢性ニューロパチー7%。

j.間質性肺疾患

D.●便秘9%●下痢7%●悪心,腹痛,口内

乾燥,嘔吐,痔出血,低血圧,●呼吸困難

6%,咳嗽,発声障害,鼻出血,口腔咽頭痛,

尿閉,肝機能検査値異常(AST,ALT),γ

-GTP↑,高ビリルビン血症,●筋痙縮

7%,筋肉痛,四肢痛,食欲減退,低K血症,

低アルブミン血症,低Na血症,高K血症,

●浮動性めまい6%,振戦,味覚異常,感

覚鈍麻,錯感覚,錯乱状態,回転性めま

い,意識レベルの低下,傾眠,●発疹5%、

そう痒症,脱毛症,紅斑,点状出血,●疲

労21%●発熱8%●無力症6%,末梢性

浮腫,寝汗,悪寒,CRP↑,多汗症,倦怠感,

骨盤痛,骨痛。